

【H30-E50】

顎口腔腫瘍および前癌病変の病態進行における分子メカニズムの解明に関する研究

1. 研究の対象

平成20年3月から平成31年2月までに大阪大学歯学部附属病院で口腔がんの手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

【目的】 口腔がんは治療後の機能障害が問題となり、治療法や切除範囲を制限されやすく、再発やリンパ節・他臓器への転移などによって、その治療成績はこの数十年改善されていないのが現状です。近年、手術などにより得られた病理組織標本からDNAやRNAなどを抽出することができるようになってきました。そのため、過去の標本から解析することが可能で、診断や治療を行う上での新たな根拠が明らかになることが望まれます。本研究では、この解析結果を利用して口腔がんの臨床病態解明を行い、世界に貢献する基礎的なデータを提供することを目的とします。

【方法】 カルテ情報から術前・術後の経過、手術内容、予後に関する内容と、病理組織標本を使用して特定の遺伝子やタンパクなどの量などを解析させていただきます。研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは一切行いません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等
試料：手術等で抽出・切除した組織標本

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学歯学部附属病院 口腔外科学第二教室

相談窓口：森田祥弘

住所：大阪府吹田市山田丘1-8

連絡先：06-6879-2941

研究責任者：

大阪大学歯学部附属病院 口腔外科学第二教室 鶴澤成一

.....以上